

2021年08月22日

乞閲覧！ キューバ大使館提供の YouTube 動画

編集部より

ドキュメンタリー映画『サーシャ、チェルノブイリの子ども』

<https://www.youtube.com/watch?v=Bl69UChizeY&t=4s>

ご観覧のおすすめ

新藤通弘さん(ラテンアメリカ研究者)からこの動画のご紹介がありました。

You Tube に載せられた動画で、
投稿者は“**EmbaCubaJapon**” つまりキューバ大使館です。

現物(リンク先)に行っていただければよいのですが、動画に付けられたコメントをご紹介します。

1986年のチェルノブイリ原発事故で深刻な身体的・精神的被害を受けた、ロシアやベラルーシ、ウクライナ出身の子どもたち26,000人以上が20年余りにわたって、キューバで無償の治療を受けた。この物語の主人公サーシャはそのひとりである。

本作は、キューバ革命の指導者フィデル・カストロが立ち上げた人道特別プログラムへのアプローチである。医師とスタッフの証言に加え、2019年ウクライナに帰国したサーシャの近しい人々との再会、生き延びようと苦闘した子どもたちの証言、母親たちの感謝の思い、原発事故後に味わった苦しみ、そしてキューバが与えた希望を取り上げた。キューバの人々は違う言葉を話し、経済困難に直面しながらも連帯的な行動で命を救い、幾千人もの子供たちの病気を治した。



『サーシャ、チェルノブイリの子ども』



提供できると思います



当院の病床数とその使用率は